

サンドブラスタ

SAND BLASTER

取扱説明書

この度はサンドブラスタをお買い求めいただき、ありがとうございます。末長くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みいただき、必ず保管してください。

もくじ

●はじめに	2	・ライト用アダプタを接続する	14
・サンドブラスタについて	2	●補助通気口について	15
・適応コンプレッサ	2	・補助通気口エアフィルタのセット	15
・仕様	2	●運転手順	16
●安全上のご注意	3	・ライトを点ける	16
・ご使用前 △警告	3	・操作方法	16
・ご使用前 △注意	5	・作業が終了したら	18
・ご使用中 △警告	6	①研磨材の抜き取り	18
・ご使用中 △注意	6	②エアフィルタの清掃	18
・ご使用后 △警告	7	●故障かな?と思ったら	19
・ご使用后 △注意	7	●保守と点検	20
●各部の名称	8	・保護シートの交換	20
●梱包内容の確認	10	・ハンドグローブの交換	20
●ご使用前に	11	・エアフィルタの交換	21
・組み立ての前に	11	・ライトの交換	22
・保護フィルムを剥がす	11	・フタの交換	25
・エアフィルタの確認	11	・作業後のお手入れ	27
・ノズルの交換	11	・各部の点検	27
・プラスチックの取り付け	12	・保管について	27
①研磨材吸込口の取り付け	12	・修理について	27
②空気接続口の取り付け	12	●別売品について	28
・研磨材の投入	13	●エアパーツ接続例	29
・コンプレッサとの接続	14		



◎お読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

発売元 **株式会社パオック**

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

はじめに P2
P5
P7

各部の名称 P8
P10

使いかた P11
P18

その他 P19
P29

はじめに

■サンドブラスタについて

- ◆コンプレッサの圧縮空気を用い、キャビネット内で研磨材をブラストガンより吐出し、ブラスト作業を行う工具です。
- ◆金属・ガラス材等の研磨、サビ・塗装落とし、研削、彫刻作業に適しています。
- ◆キャビネット方式で、キャビネット内で研磨材を循環させて作業が行えるため、便利です。

■適応コンプレッサ

- ※このサンドブラスタを使用するには、別途1.10kW以上のコンプレッサが必要です。連続使用時間はコンプレッサの能力、タンク容量により異なります。
- ※本製品にはコンプレッサは付属されておりません。必要に応じて別途お買い求めの上、ご使用ください。

■本体仕様

型 式	SB-07
最高使用圧力	0.7MPa
空気消費量	260L/min
本 体 質 量	約16kg
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> • ブラストガン…………… 1 (ブラストガン… 1・ワッシャ… 3・ナット… 1・ニップル… 1) • ライト用アダプタ…………… 1 • 保護シート(1枚本体取付済)…………… 6 • ノズル(φ5mm本体取付済) (φ4mm・φ5mm・φ6mm・φ7mm) …… 各1 • 補助通気口エアフィルタ…………… 1 • シールテープ…………… 1 • 管用ねじ1/4カプラプラグ…………… 1

■ライト仕様

定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	6W

※品質改良のため、外観・仕様など一部変わることがあります。

安全上のご注意

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。

本取扱説明書の注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分されています。

⚠ 警告

この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

⚠ 注意

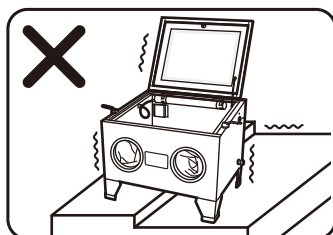
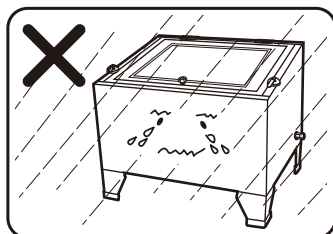
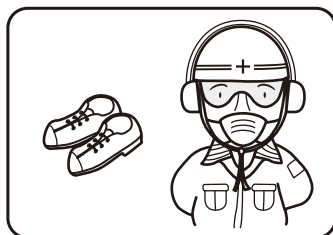
この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。

なお、⚠注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しておりますので必ず遵守してください。

ご使用前

⚠ 警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みいただき、使い方を十分理解してください。
- 作業はきちんとした服装で行ってください。
 - 研磨材を吸込んだり、身体にあたったりすると、身体を害する恐れがあります。ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、安全靴等の保護具を着用し、安全に作業してください。
- 本機の設置場所に十分考慮してください。
 - 研磨材が漏れても支障のない場所に設置してください。作業時にキャビネット内の圧力が高まると、キャビネットが膨張し、エアと共に研磨材が漏れる場合があります。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - サンドブラスタは、雨の中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
- 揮発性可燃物のそばで使用しないでください。
 - 引火または爆発の恐れがあり、危険です。
- 安定性のよい場所に置いて作業してください。
 - 不安定な場所での作業は、けがの原因となります。

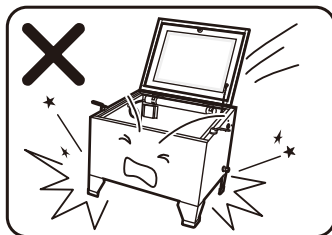
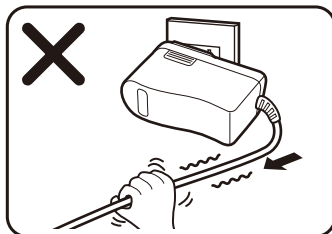
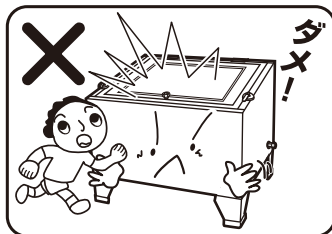


安全上のご注意

ご使用前

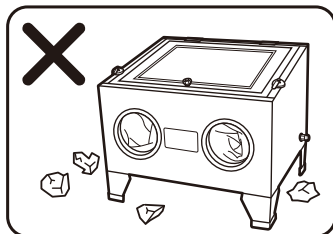
警告

7. 定期点検は必ず実施してください。
 - ・故障の早期発見や作業能率のアップとなります。
8. 子供を近づけないでください。
 - ・作業者以外、サンドブラスタやコードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
9. 本機は、ドライ仕様です。
 - ・液体を混ぜてのブラスト作業は絶対におやめください。
10. ライト用アダプタを乱暴に扱わないでください。
 - ・電源からライト用アダプタを抜く際は、コードを引っ張らずライト用アダプタ本体を持って、抜いてください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけたり、乱暴に扱うと、断線・短絡（ショート）の原因となります。
11. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧（AC100V）でご使用ください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、損傷の原因となります。
12. コンプレッサとの配管や接続箇所を確認してください。
 - ・確実に接続されていないと、エア漏れを起こし、作業能力の低下を招いたり、使用中にエアホースが外れ、思わぬ事故の原因となります。
13. 本機は大切に取り扱いってください。
 - ・転倒や落下により、破損する恐れがあります。



ご使用前**⚠ 注意**

- 1. 作業場はいつも明るく、きれいにしてください。**
 - ・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因となります。
- 2. 必ず内径6.5 mm以上・長さ10 m以内のエアホースを使用してください。**
 - ・内径が6.5 mm未満、長さ10 mを超えたエアホースを使用すると、圧力低下の原因となり、十分な作業能力が得られません。
 - また、エアホース以外のホースを使用すると、ホースが破裂する恐れがあります。
- 3. コンプレッサはキャビネットからできるだけ離してご使用ください。**
 - ・近い場所では、キャビネットから研磨材が漏れた際に研磨材をコンプレッサが吸い込み、故障の原因となります。



安全上のご注意

ご使用中

警告

1. 無理な姿勢での作業はおやめください。
 ・本機を作業しやすい場所へ置き、足元を安定させ、作業を行ってください。

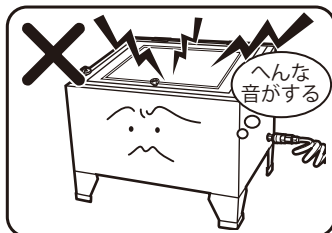
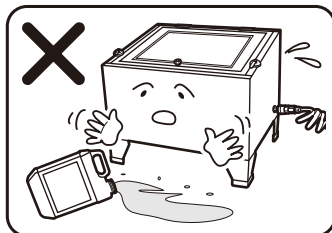
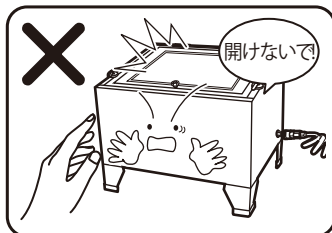
2. 使用中は、フタは絶対に開けないでください。
 また、フタを開けたままの作業は絶対に行わないでください。
 ・研磨材が飛び散り、思わぬ事故や、けがの原因となり大変危険です。

3. 研磨材が目に入らないようにしてください。
 ・誤って研磨材が目に入った際は、直ちに清浄な水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

4. 研磨材が床等にこぼれた際は、作業を中断しすぐに掃除してください。
 ・研磨材は滑りやすく、思わぬ事故の原因となり大変危険です。

5. 付属品を取り付ける際は、必ずエアホース内の空気を抜き、本機からエアホースを外して行ってください。
 ・残圧による反動で思わぬ事故や、けがの原因となります。

6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がした時は、使用を中止し、お買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。
 ・そのまま使用していると、事故やけがの原因となります。

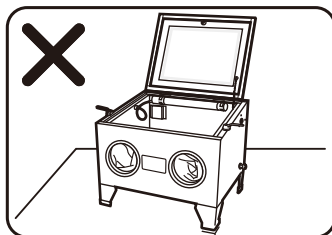


ご使用中

注意

1. 空気圧力は0.7MPa以内でご使用ください。
 ・0.7MPaを超えた圧力で使用するとブラストガンが破損する恐れがあります。

2. フタを開けたまま、放置しないでください。
 ・研磨材がキャビネットからこぼれやすくなり、故障や事故、またはけがの原因となり危険です。



ご使用後

⚠ 警告

1. 作業後は、必ずエアホースを本機から抜いてください。

- ・コンプレッサを止め、エアホース内の残圧を抜いた上で、エアホースを本機から外してください。

2. エアフィルタ・補助通気口エアフィルタの掃除をこまめにしてください。

- ・使用した研磨材がフィルタの目詰まりを起こし、内部エアがフィルタから抜けにくくなると、キャビネットから研磨材が漏れる原因となる恐れがあります。

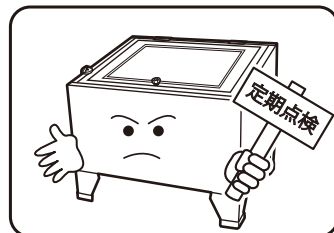
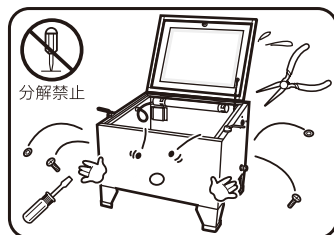
3. 本機を分解、改造しないでください。

- ・事故やけが、故障の原因となります。

4. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・そのまま使用していると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因となります。

定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。



ご使用後

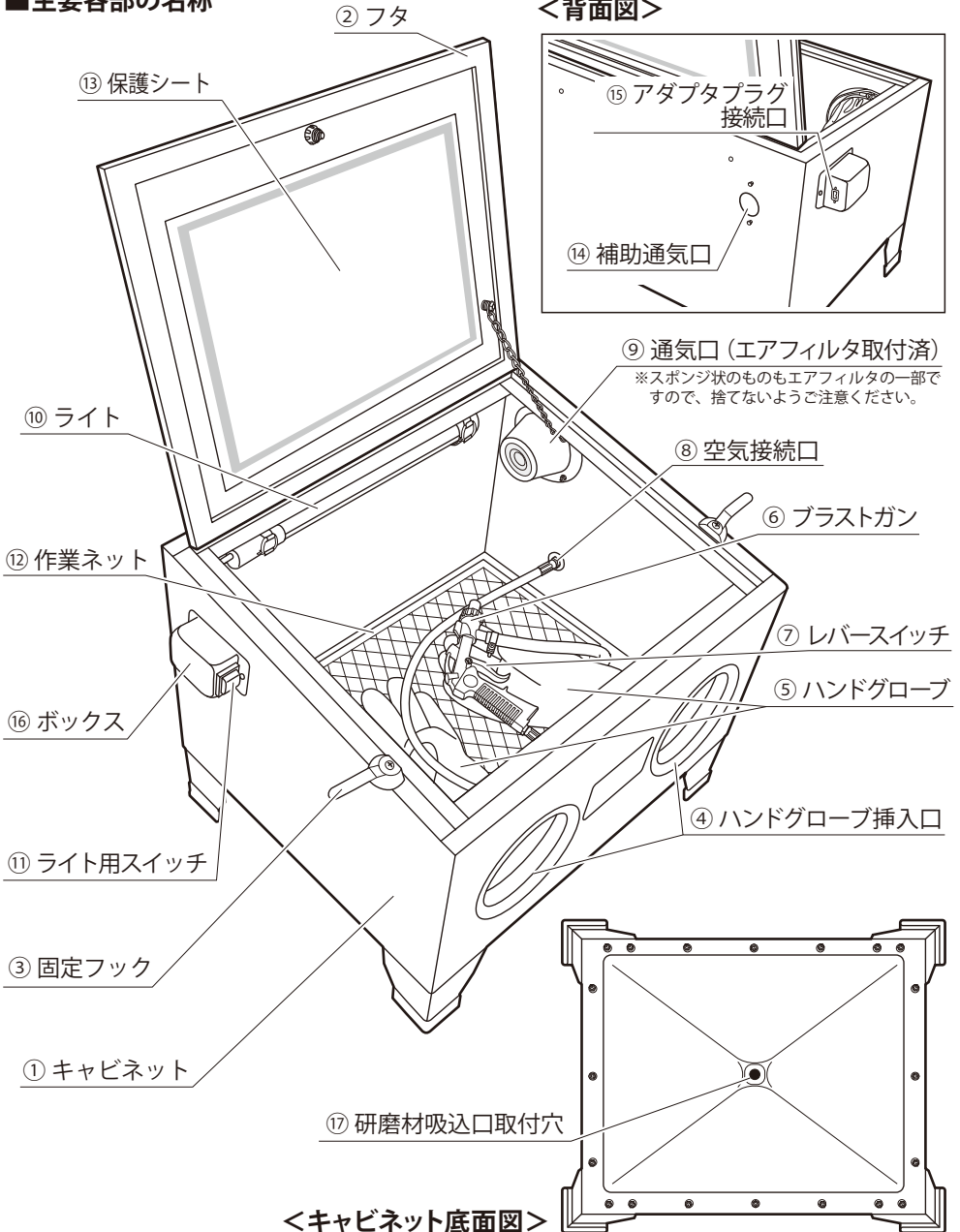
⚠ 注意

1. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、お子様の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

各部の名称

■主要各部の名称



■主要各部の名称と機能

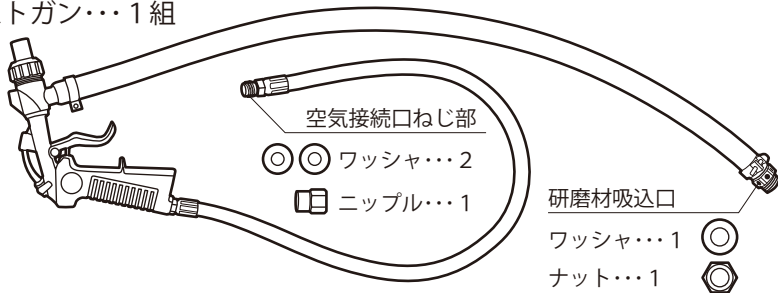
	名 称	機 能
①	キャビネット	加工物を入れ、研磨材を循環させて作業が行えます。
②	フタ	透明なのでキャビネット内の加工物を確認しながら作業できます。 ※フタの表面に貼られているフィルムを剥がしてからご使用ください。
③	固定フック	フタが開かないように固定します。
④	ハンドグローブ挿入口	ここからハンドグローブ内に手を入れます。
⑤	ハンドグローブ	研磨材から手を守ります。
⑥	ブラストガン	研磨材を吐出し、研磨・研削・ブラスト作業ができます。
⑦	レバースイッチ	引くと研磨材が吐出し、放すと止まります。
⑧	空気接続口	エアホースを接続します。
⑨	通気口	キャビネット内の空気の排出を行います。
⑩	ライト	キャビネット内を明るくし、作業をしやすくします。
⑪	ライト用スイッチ	ライトの電源のON/OFF操作をします。
⑫	作業ネット	研磨材の中に部品や作業物が落ちないようにするネットです。
⑬	保護シート	フタの窓を保護するシートです。(傷んだら交換してください。)
⑭	補助通気口	補助通気口エアフィルタを取り付けて、通気口の補助として使用します。
⑮	アダプタプラグ接続口	ライト用アダプタの接続口です。
⑯	ボックス	ライト用の端子等の配線が収められています。
⑰	研磨材吸込口取付穴	ブラストガンの研磨材吸込口を取り付けます。研磨材の排出口も兼ねています。

梱包内容の確認

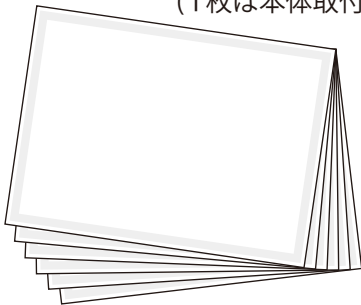
■各製品の点検

●組み立ての前に、各部品の数量を確認してください。

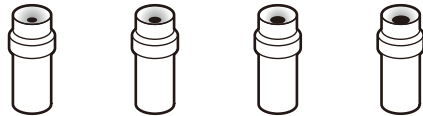
ブラストガン… 1組



保護シート… 6枚
(1枚は本体取付済)

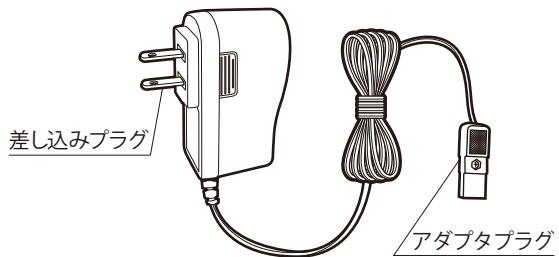


ノズル…各 1個 (φ 5mmは本体取付済)

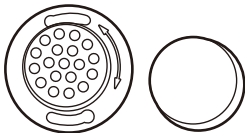


φ 4mm φ 5mm φ 6mm φ 7mm

ライト用アダプタ… 1個

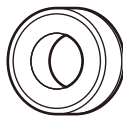


補助通気口
エアフィルタ… 1組



フィルタカバー フィルタ

シールテープ… 1個



管用ねじ
1/4カプラプラグ… 1個



※部品が不足している場合は販売店または発売元までご連絡ください。

⚠ 警告

各部品が不足していたら、使用しないでください。
またコード、プラグなども差し込まず、不足部品が揃ってから使用してください。

ご使用前に

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■組み立ての前に

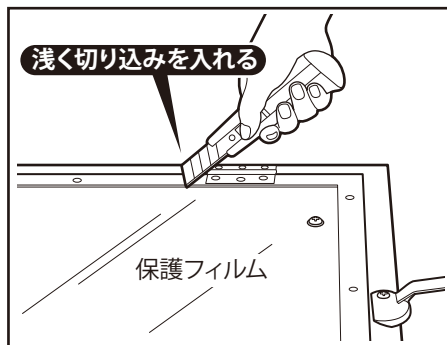
- ・本機の組み立てには、カッター、⊕2 ドライバが必要となりますので、ご注意ください。
- ・本機は乾燥していて安定性の良い、研磨材が漏れても支障のない場所に設置してください。

■保護フィルムを剥がす

フタ表面を保護しているフィルムを剥がします。
フタのフチに沿って、カッターなどで浅くフィルムに切り込みを入れて、剥がしてください。

⚠注意

- ・深く切り込みすぎてフタに傷を付けると、フタの強度が弱くなり危険ですのでご注意ください。
- ・保護フィルムを剥がさずに使用すると、キャビネット内部が見えにくく危険ですので、必ず剥がしてからご使用ください。

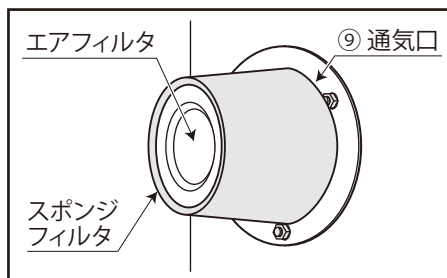


■エアフィルタの確認

通気口に取り付けられているエアフィルタに、スポンジフィルタが付いている事を確認してください。

⚠注意

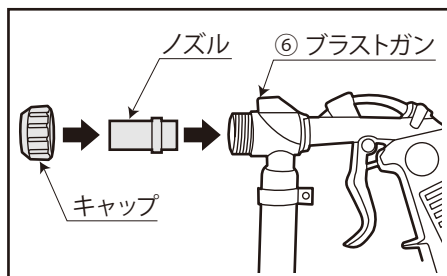
スポンジフィルタは、エアフィルタの一部です。捨てないようにご注意ください。



■ノズルの交換

ブラストガンのキャップを外し、付属品のノズルを挟む様に取り付けてください。

※ノズルは、穴径サイズが大きいほど研磨材の吐出量が多くなります。
研磨するものの状態や、作業環境に応じて交換してください。



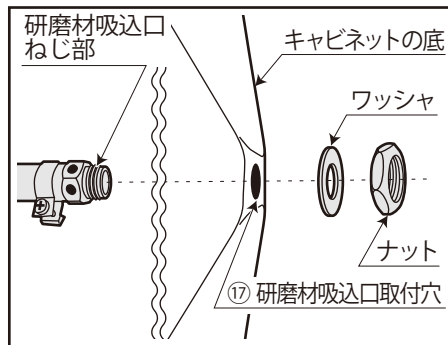
ご使用前に

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■ブラストガンの取り付け

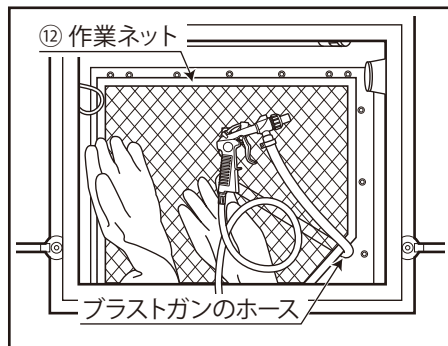
① 研磨材吸込口の取り付け

- ①取り付け前に、作業用ネットを取り出し、キャビネットを慎重に横に倒します。内側から研磨材吸込口のねじ部をキャビネット底にある取付穴から出して、ワッシャ→ナットの順に取り付け、確実に締めてください。



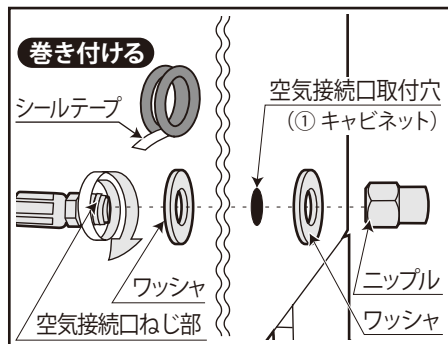
- ②キャビネットを起し、作業ネットを元に戻します。
作業ネットは右下隅からブラストガンのホースを出すため、角の無い部分が右下隅になるように元に戻し、セットします。

※キャビネットの底は床との隙間がほとんどありません。底と床の隙間ができるような、安定した台をキャビネットの足の下に置くことで研磨材吸込口の取付作業や、研磨材の抜き取りが便利になります。



② 空気接続口の取り付け

- ①空気接続口ねじ部に付属のシールテープを巻き付けて、空気が漏れないようにしてください。
- ②シールテープを巻いた空気接続口ねじ部をキャビネットの内側から→ワッシャ→空気接続口取付穴(キャビネット)→ワッシャ→ニップルの順に取り付け、確実に締めてください。



■ 研磨材の投入

ご使用になる前に、ブラストガンの研磨材吸込口が研磨材吸込口取付穴に確実に取り付けられていることを確認し、用途に適した研磨材をゆっくりとキャビネット内に投入してください。

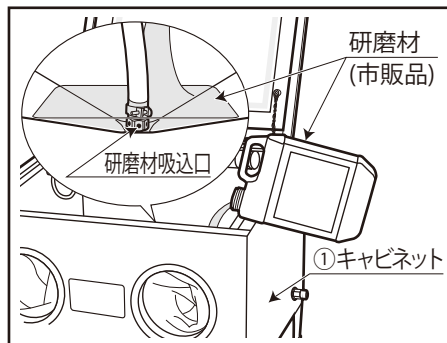
研磨材吸込口が埋まる程度（目安として約2kg）、研磨材を投入します。

⚠ 注意

- ・ 研磨材は4kg以上入れないでください。
 - ・ 研磨材が作業ネットを越えないようにしてください。
 - ・ 用途に適した研磨材をご使用ください。
- ※ 下記《適用研磨材表》を参考に当社別売品もしくは市販品をご利用ください。

・ 別売表参照

P28



《適用研磨材表》

用 途	ケイ砂 C#15	グリーン カーボラダム GC#120	アランダム A#100	ホワイト アランダム WA#100	ガラスビーズ G#100
さび、塗装のはがし	○	○	◎	○	
ステンレス加工及びメッキはがし	○	◎		○	
カーボン除去		○	◎	○	
金属面のクリーニング					◎
塗装前の下地調整		○	○	◎	○
ガラスの彫刻	○	◎		○	
繰返しの使用	1~2回程度	◎	◎	◎	◎

◎…最適

○…適する

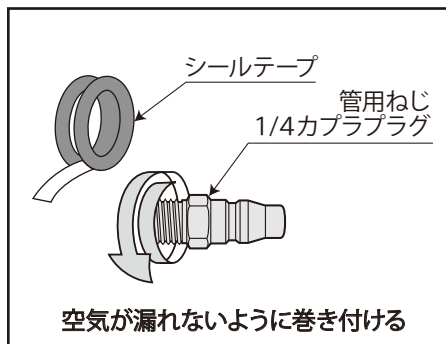
ご使用前に

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■コンプレッサとの接続

付属の管用ねじ1/4カプラプラグを使用し、エアホースと本機を接続します。

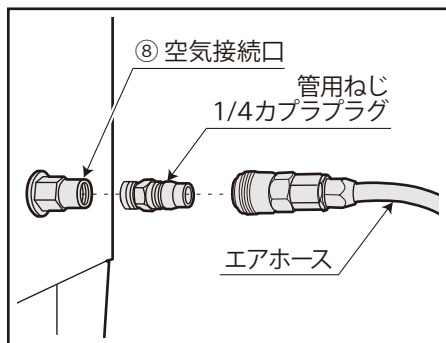
- ①管用ねじ1/4カプラプラグのねじ部に付属のシールテープを巻き付け、空気が漏れないようにします。



- ②①を本機の空気接続口に接続し、エアホースを接続します。

⚠注意

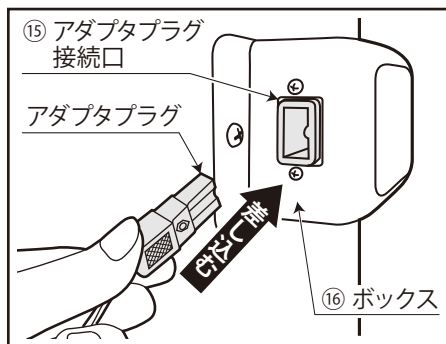
エアホースは内径6.5 mm以上、長さ10 m以内で使用してください。
内径が6.5 mm未満、長さ10 mを超えたエアホースを使用すると、圧力低下の原因となり、十分な作業能力が得られません。
また、エアホース以外のホースを使用すると、ホースが破裂する恐れがあります。



■ライト用アダプタを接続する

- ①ライト用アダプタのアダプタプラグを本機に接続します。

- ②差し込みプラグを電源に差し込んでください。



補助通気口について

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

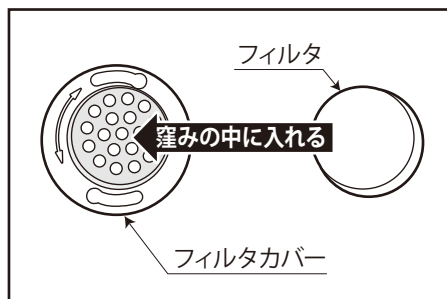
キャビネット内は気密性が高いため、コンプレッサの圧縮空気が入ると、気圧が上がります。キャビネットが膨張しやすい状態になります。内部圧力が上がり過ぎないように、補助通気口に補助通気口エアフィルタを取り付け、ご使用ください。

⚠ 注意

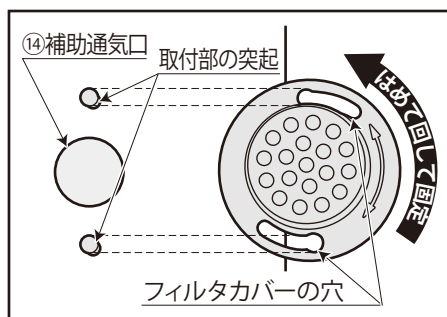
作業時には必ず、補助通気口エアフィルタをセットしてご使用ください。エアフィルタをセットせずに使用した場合、研磨材が吹き出す恐れがあります。

■補助通気口エアフィルタのセット

- ①付属品のフィルタカバーの窪みにフィルタをセットしてください。



- ②①でセットしたフィルタカバーの穴を本機背面にある取付部の突起に合うようにはめ、左方向に回して固定ください。



⚠ 注意

・フィルタが目詰まりを起こしますと、内部のエアが抜けにくくなります。作業ごとにこまめに掃除をしてください。

・エアフィルタの清掃 **P18**

・研磨材が磨耗して粒子が細くなることによりフィルタが目詰まりを起こしやすくなります。その際は、研磨材の交換を行ってください。

・研磨材の抜き取り **P18**

・研磨材の投入 **P13**

運転手順

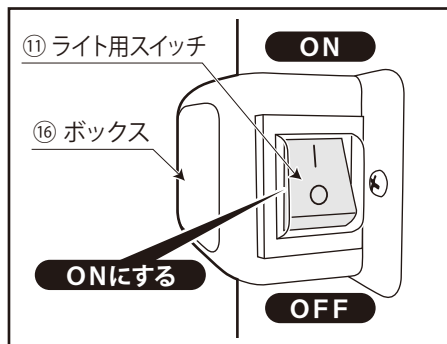
※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■ライトを点ける

キャビネット左側のライト用電源スイッチをONにしてライトを点けてください。

⚠ 注意

暗いところでの作業は、事故やけがの原因となり、危険です。ライトを点けて作業してください。

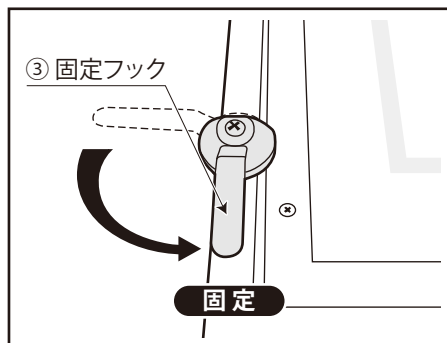


■操作方法

①ブラストするものをキャビネット内に入れ、キャビネットのフタを閉じ、固定フックを回し、確実に固定します。

⚠ 警告

キャビネットのフタが確実に閉まっていないと、キャビネット内の研磨材が飛び散り、思わぬけが、事故の原因となり、危険です。

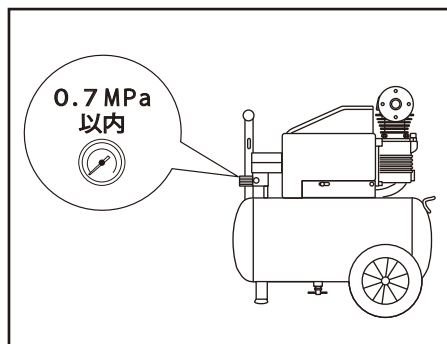


②コンプレッサからの圧縮空気を送ります。

圧縮空気の圧力は初め、適正圧力より0.2MPa程度、低めにセットします。研磨材の吐出状態を見て、少しずつ圧力を上げていきます。

⚠ 警告

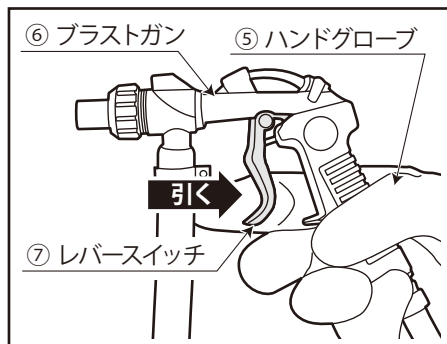
圧縮空気の圧力は0.7MPa以内でご使用ください。0.7MPaを超えた圧力で使用すると、ブラストガンが破損する恐れがあります。



- ③手をハンドグローブに差し込みます。ブラストガンをしっかりと握り、レバースイッチを引くと、ブラストガンの先端から圧縮空気と共に研磨材が吐出します。

⚠ 警告

キャビネットのフタが確実に閉まっていないと、キャビネット内の研磨材が飛び散り、思わぬけが、事故の原因となり、危険です。



- ④ブラストガンをブラストするものに向け、円を描くようにブラストしてください。

⚠ 注意

- ・同じ場所を続けてブラストすると、削り過ぎますのでご注意ください。
- ・削り過ぎる場合は、圧縮空気の圧力を低くするか、ノズルを交換してください。

・ノズルの交換 **P11** ➡

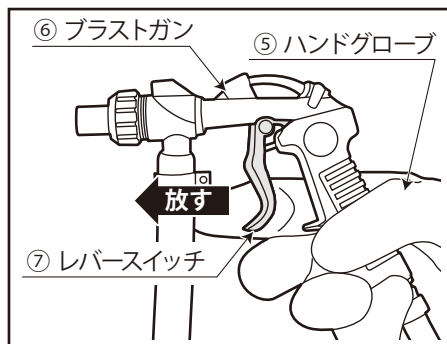
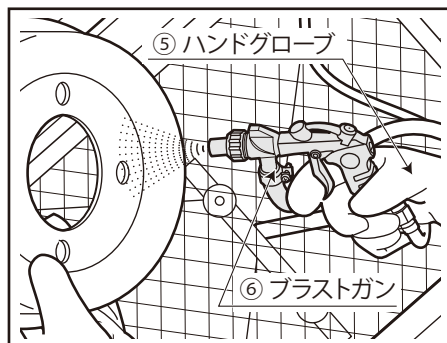
- ・削れない場合は、圧縮空気の圧力を高くするか、ノズルを交換してください。

・ノズルの交換 **P11** ➡

- ⑤レバースイッチを放すと、研磨材の吐出が止まります。

⚠ 注意

- ・作業終了後、すぐにはキャビネットのフタを開けないでください。キャビネット内の粉じんが収まったのを確認してから、開けてください。
- ・作業中は、コンプレッサの水抜きをこまめにしてください。圧縮空気内の水分で研磨材が湿気り、ノズルの詰まりの原因になります。



運転手順

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■作業が終了したら

キャビネット内の研磨材を抜き取り、ブラシ等で残った研磨材を掃き出し清掃します。

①研磨材の抜き取り

①研磨材吸込口を固定しているナットとワッシャを外し、研磨材吸込口ねじ部を抜きます。

※キャビネットの底は床との隙間がほとんどありません。底と床の隙間ができるような、安定した台をキャビネットの足の下に置くことで研磨材吸込口の取付作業や、研磨材の抜き取りが便利になります。

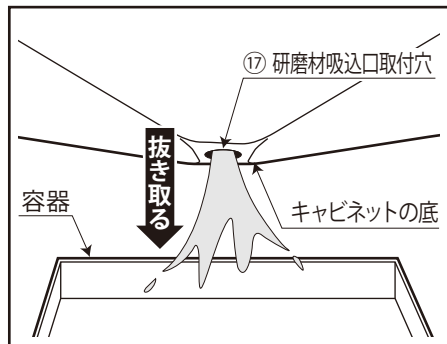
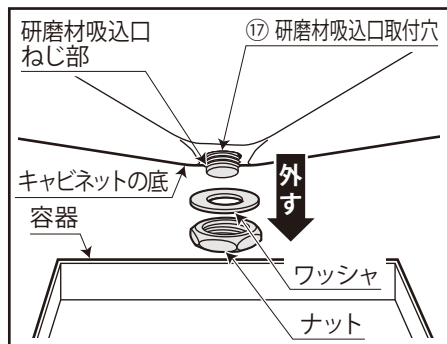
⚠注意

研磨材を抜き取る時は、研磨材を受け取る容器かシートを用意し、床等にこぼさないようにしてください。

②キャビネット内の研磨材を研磨材吸込口取付穴から抜き取り、残った研磨材は、ブラシ等で掃き出してください。

⚠警告

研磨材を取り出す際に、吸い込んだり、身体に付着すると、身体を害する恐れがあります。ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、安全靴等の保護具を着用し、安全に作業してください。



②エアフィルタの清掃

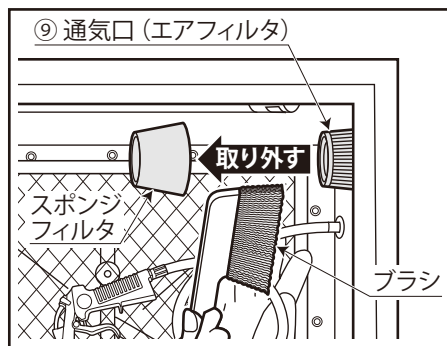
通気口に取り付けられているエアフィルタに付着した粉じんをブラシ等で取り掃ってください。

※イラストはわかりやすくするため、フタを省略してあります。

⚠注意

エアフィルタにかぶせてあるスポンジフィルタや補助通気口のフィルタは本機から外し、軽くたたいて研磨材を落としてください。

水洗いをした場合は、よく乾かしてご使用ください。



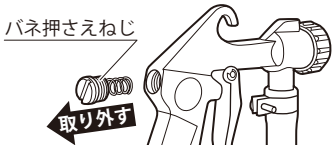
故障かな?と思ったら

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

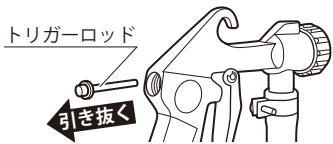
●次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症状	原因	解決方法
プラスチックから研磨材が出ない。	①エアホースがつながっていない。	①エアホースが確実に繋がっているか、確認してください。 P14
	②エアコンプレッサの使用空気圧力が低い。	②ご使用のエアコンプレッサの使用空気圧力を0.6～0.7MPaに上げてください。 P16
	③ノズルが詰まっている。	③ノズル内を清掃するか、ノズルを交換してください。 P11
	④研磨材が湿っている。	④コンプレッサ等の水分をこまめに除去してください。 ※より水分除去効果を得るには、市販のエアフィルタのご使用をおすすめします。 P29
	⑤研磨材の投入量が少ない。	⑤研磨材の量を確認してください。 P13
作業能率が上がらない。	①研磨材の磨耗	①古い研磨材を抜き取り、新しい研磨材を投入してください。 P13・18
	②研磨材の不適合。	②用途に合った研磨材をご使用ください。 P13
レバースイッチを引いていないのに、プラスチックからエアが出る。	①トリガーロッドのOリングの位置ズレ。	①下記手順に従って、Oリングの位置を調整してください。

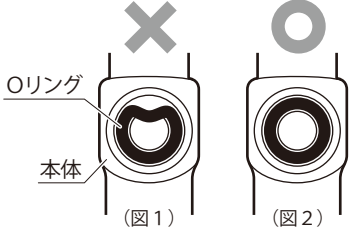
1. バネ押さえねじを⊖ドライバなどでゆるめ、取り外します。



2. ラジオペンチなどで、トリガーロッドを引き抜きます。
(レバースイッチの方からロッドを押し出すと、引き抜きやすくなります。)



3. トリガーロッドを抜いた穴から、Oリングを確認します。
(図1)のように変形している場合は、細い⊖ドライバなどでOリングを一度取り外し、(図2)のような正常な状態になるよう、取り付け直してください。



※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

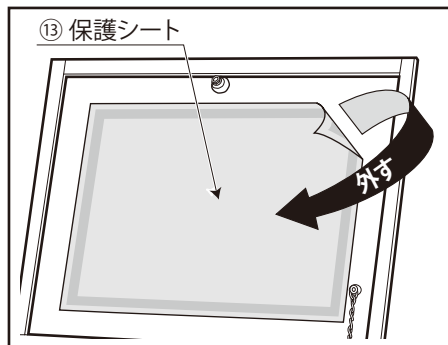
保守と点検

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■保護シートの交換

保護シートは、透過性が悪くなり、キャビネット内が見えにくくなったら、交換してください。

- ① 傷んだ保護シートをフタから丁寧に外してください。
- ② 新しい保護シートの両面テープの剥離紙を外し、同じ位置に取り付けてください。

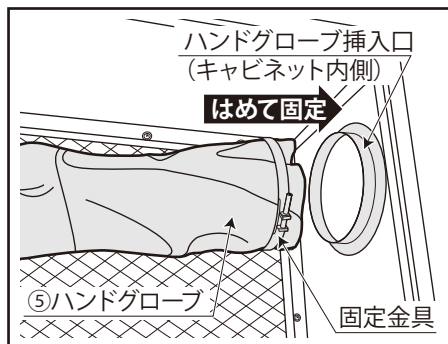
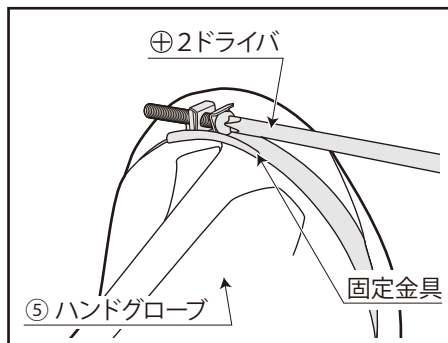


■ハンドグローブの交換

ハンドグローブは定期的に点検し、破損や劣化の場合には、交換してください。

※ハンドグローブの交換には、 $\oplus 2$ ドライバをご用意ください。

- ① ハンドグローブを固定している金具のねじを $\oplus 2$ ドライバでゆるめ、取り外します。
- ② 新しいハンドグローブを①で取り外した金具の内側に入れ、2～3 cm 裾を出します。キャビネット内側のハンドグローブ挿入口に取り付け、確実に固定します。もう一方のハンドグローブも同じように交換します。



⚠ 注意

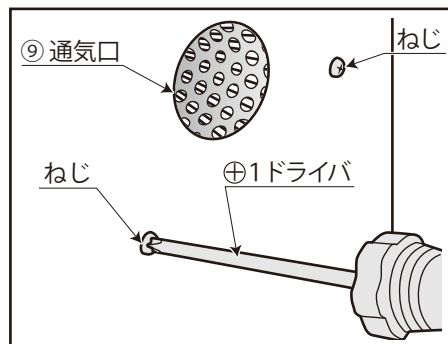
- ハンドグローブの左右を確認して取り付けてください。逆に取り付けないようにご注意ください。
- 金具が確実に固定されていないと、ハンドグローブが外れ、研磨材が漏れて、思わぬ事故の原因となる恐れがあります。

■エアフィルタの交換

エアフィルタは定期的に点検し、破損や劣化の場合には、交換してください。

※エアフィルタの交換には、⊕1ドライバをご用意ください。

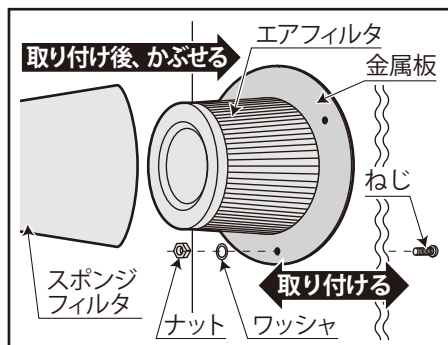
- ①通気口に取り付けられているエアフィルタを固定しているねじ（3ヶ所）を⊕1ドライバでゆるめ、取り外します。



- ②新しいエアフィルタをキャビネットと①で外した金属板で挟むようにセットし、ナット、ワッシャ、ねじで右図のように取り付けてください。残りの2ヶ所も同様にし、3ヶ所を均等な力で確実に締めてください。取り付け後、スポンジフィルタをかぶせて終了です。

⚠ 注意

均等に3ヶ所のねじを確実に締めてください。偏りがある締め方はキャビネットとエアフィルタ間に隙間を作り、研磨材が漏れる恐れがあります。



保守と点検

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■ライトの交換

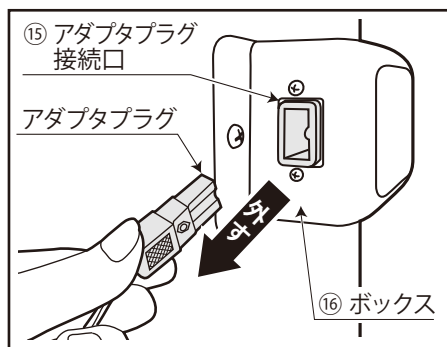
ライトは定期的に点検し、破損や劣化の場合には、交換してください。

※ライトの交換には、⊕2ドライバーをご用意ください。

- ①ライト用アダプタのアダプタプラグを本機から外します。

⚠ 警告

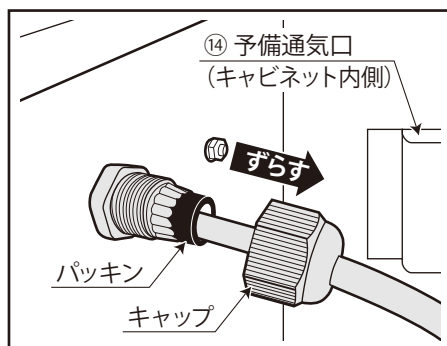
ライト用アダプタは必ず外してください。外さずに作業をすると、感電の恐れがあり、危険です。



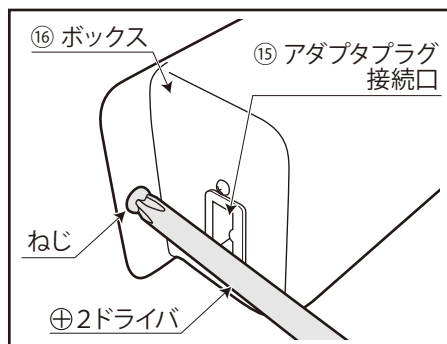
- ②ボックスの裏側にあるキャップとゴムパッキンを外してコード上にずらして置いてください。

⚠ 警告

コードは乱暴に扱わないでください。断線・短絡（ショート）の恐れがあります。



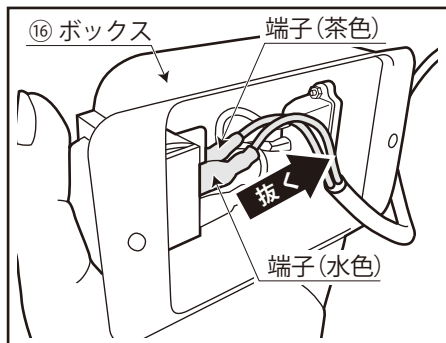
- ③ボックスを固定しているねじ(2ヶ所)を⊕2ドライバーで外します。



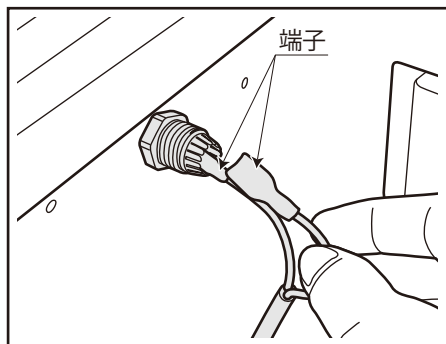
- ④ ライトの端子（2ヶ所）を慎重に抜きます。

⚠ 警告

端子を抜く時は、慎重に抜いてください。乱暴に扱うと断線・短絡（ショート）の恐れがあります。



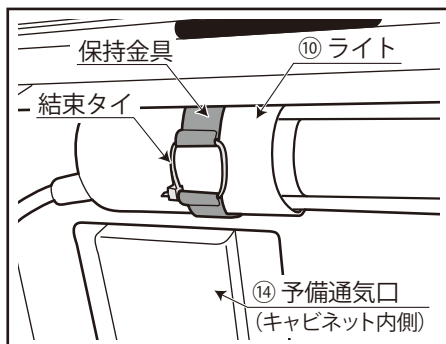
- ⑤ 外した端子は2個同時に取り出せないで、1個ずつ穴から取り出します。



- ⑥ ライトの保持金具（2ヶ所）に結束タイが付いている場合はハサミなどで切って外し、ライトを取り出します。

⚠ 注意

- ・ 結束タイは輸送時の脱落防止を目的としており、通常使用時・ライト交換時には無くても支障ありません。
- ・ 結束タイをハサミなどで切る場合は、けがをしないようご注意ください。



保守と点検

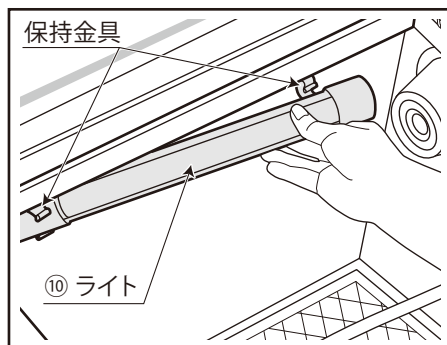
※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■ライトの交換（つづき）

- ⑦新しいライトを保持金具に留めます。銀色の反射用のシートがついてる面を背面にして取り付けてください。

⚠ 注意

ライトの銀色の反射用のシートがついてる面が背面でないとライトの灯りが通常の状態ほど明るくならず、十分な効果が得られません。



- ⑧ライトのコードと端子を外した時の逆の手順で取り付けます。端子の配置を間違えないように取り付けてください。

⚠ 警告

コード、端子は乱暴に扱わないでください。断線・短絡(ショート)の恐れがあります。



■フタの交換

フタは定期的に点検し、破損や劣化の場合には、交換してください。

※フタの交換には、
 ・⊕2 ドライバ
 ・⊕3 ドライバ
 ・7mmスパナ
 ・10mmスパナ
 をご用意ください。

⚠注意

フタ表面を保護しているフィルムを剥がしてから交換してください。

①ノブとフタを組み立てます。

ノブ・フタ・パッキン・ナットを
 図の順番で組み立てます。

※フタは蝶番が付いている方が、ノブ
 面です。

②10mmスパナでナットを固定し
 ながらノブを締め付けてください。

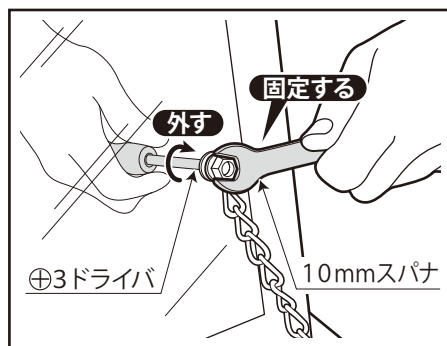
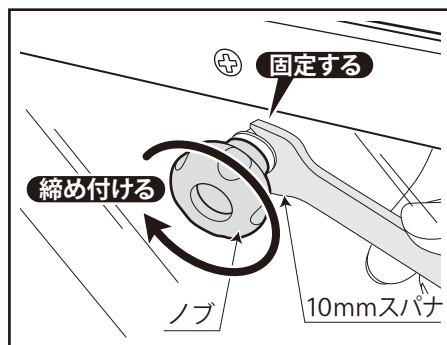
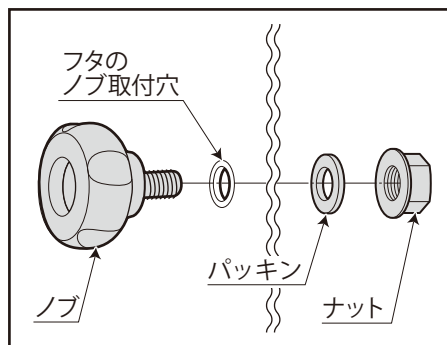
③今付いているフタを外します。

チェーンを取り付けているナット
 を10mmスパナで固定し、反対
 側から⊕3 ドライバでねじを回し
 て外してください。

※ナット、ねじ、ワッシャ、パッキン
 は再度使用しますので保管しておい
 てください。

⚠注意

チェーンを外す際、フタが倒れやすく、
 不安定になりますのでご注意ください。



保守と点検

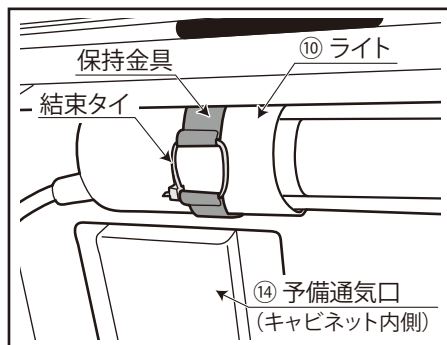
※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■フタの交換（つづき）

- ④ 本体内部のライトを外してください。（結束タイで固定してある場合は、ハサミ等で切ってください。）

⚠ 注意

結束タイをハサミ等で切る場合は、けがをしないようご注意ください。



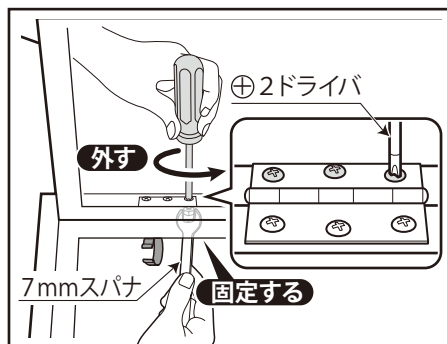
- ⑤ 蝶番を外します。

本体の内側にあるナットを7mmスパナで固定しながら、⊕2ドライバで、本体側のねじを6ヶ所外してください。フタが外れます。

※ねじとナットは再度使用しますので保管しておいてください。

⚠ 注意

蝶番を外す際、フタが倒れやすく、不安定になりますのでご注意ください。



- ⑥ 新しいフタを、③～⑤と逆の手順で取り付けてください。

⚠ 警告

本体と確実に取り付けられているか、必ず確認してください。
事故やけがの原因となる恐れがあります。

保守と点検

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

⚠ 警告

お手入れや点検の際は、必ずエアコンプレッサとの接続を解除し、ライトの電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。事故やけがの原因となります。

■作業後のお手入れ

- ・研磨材吸込口を固定してるナットとワッシャを外し、キャビネット内の研磨材を研磨材吸込口取付穴から取り出し、残った研磨材は、ブラシなどで掃き出してください。
- ・エアフィルタや通気口の周りに付着した粉じん等をブラシなどで取り払ってください。

■各部の点検

- ・各部（フタ、ブラストガン、ノズル、ハンドグローブ挿入部、ライト等）に異常や破損がないか。
- ・研磨材の磨耗等で作業効率が悪くないか。
- ・研磨材とエアホースが湿っていないか。
- ・キャビネットのフタのパッキンから漏れがないか。
- ・各部取付ねじは、ゆるんでいたり、破損していないか。

以上の点検を定期的に行うことをおすすめします。
点検せず、異常があるまま使用すると大変危険です。

■保管について

使用しない場合はきちんと保管してください。また、次の場所には保管しないでください。

- 軒先など雨がかったり、湿気のある所
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 直射日光の当たる所

■修理について

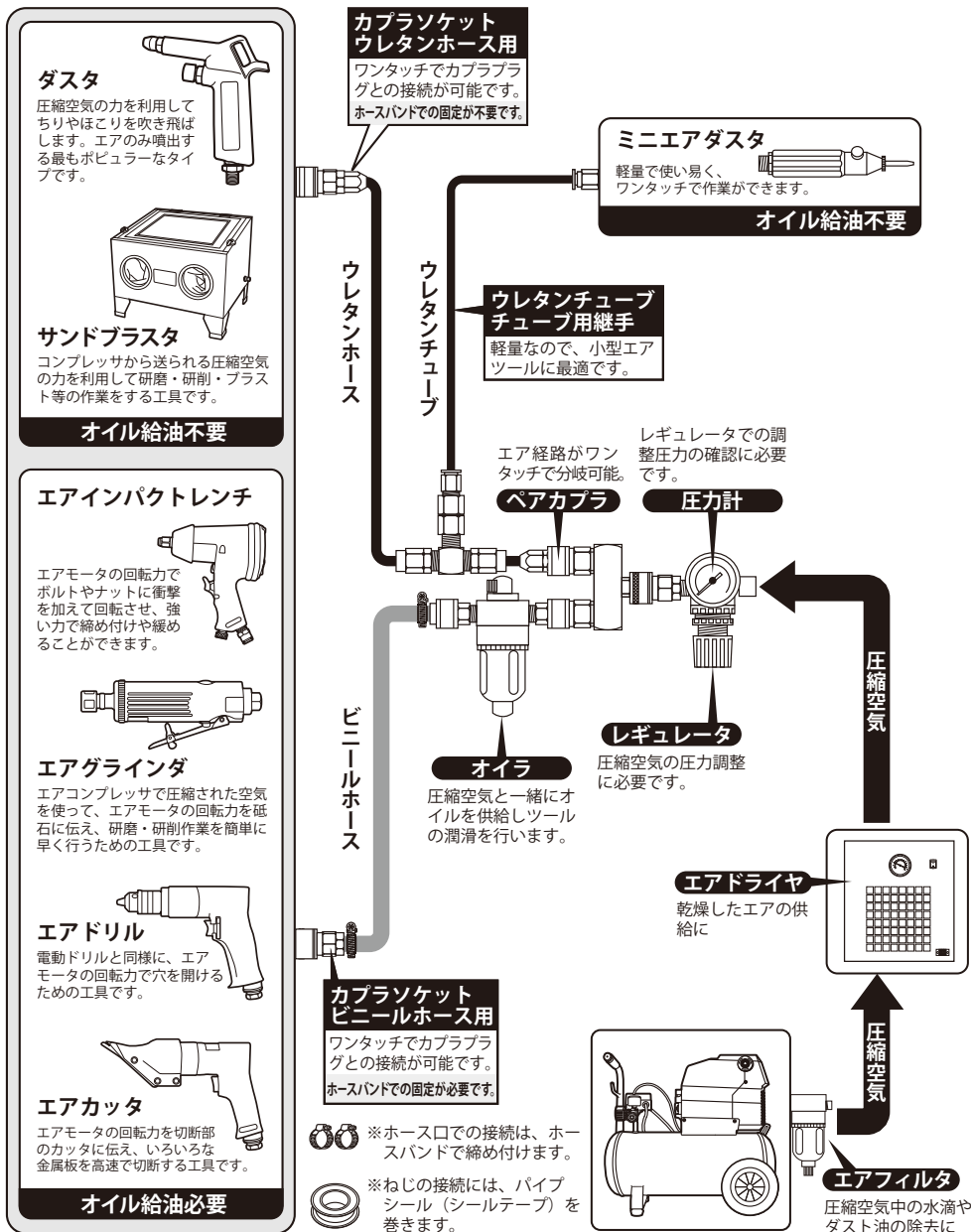
- ・本製品は、当社規格に基づき厳密な精度で製造、検査しておりますが、万一正常に作動しなくなった場合は、お買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。
- ・お問い合わせや連絡がないまま、直接販売元に修理品等を送付されても処理対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

別売品について

■別売表

付属品の名称	品番
サンドブラスタSB-07用 ノズル4mm (2pcsセット)	SB-07N4
サンドブラスタSB-07用 ノズル5mm (2pcsセット)	SB-07N5
サンドブラスタSB-07用 ノズル6mm (2pcsセット)	SB-07N6
サンドブラスタSB-07用 ノズル7mm (2pcsセット)	SB-07N7
サンドブラスタSB-07用 保護シート (3枚セット)	SB-07PS
サンドブラスタSB-07用 ハンドグローブ	SB-07HG
サンドブラスタSB-07用 エアフィルタ	SB-07AF
サンドブラスタSB-07用 補助通気口エアフィルタ	SB-07SF
サンドブラスタSB-07用 ライト	SB-07L
サンドブラスタSB-07用 プラストガン	SB-07BG
サンドブラスタ用フタ	SB-07CV
サンドブラスタ用研磨材 ケイ砂	C#15
サンドブラスタ用研磨材 グリーンカーボランダム	GC#120
サンドブラスタ用研磨材 アランダム	A#100
サンドブラスタ用研磨材 ホワイトアランダム	WA#100
サンドブラスタ用研磨材 ガラスビーズ	G#100

エアパーツ接続例



MEMO

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品名	サンドブラスタ	型式	SB-07
お買い上げ日※	年 月 日	保証期間	1年
お客様※	ご住所	〒	
	ご氏名	様	
	電話番号	- () -	
販売店※	住所		
	店名		
	電話番号		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559
URL <http://www.paock.co.jp>

E863-Q5 1812350